

1. 件名：リサイクル燃料貯蔵株式会社の原子力事業者防災業務計画の修正の検討について

2. 日時：令和4年12月20日 10:00～10:35

3. 場所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

蔦澤防災専門職、澤村防災専門官、川本専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

リサイクル燃料貯蔵株式会社

防災安全グループマネージャー 他1名

5. 要旨

リサイクル燃料貯蔵株式会社から、原子力事業者防災業務計画の修正として、以下を検討しているとの説明があった。

- ・炉規法の許認可の進捗に伴う防災資機材の変更
- ・その他、文言の適正化 など

原子力規制庁から、緊急時対策所の燃料の容量の根拠を確認すること、通報文中のモニタリングポストの単位の変更根拠の妥当性を示すことを伝えた。

リサイクル燃料貯蔵株式会社から今回の指摘を踏まえて対応するとの回答があり、原子力規制庁から法令に基づき手続きを行うよう伝えた。

6. その他

配布資料

資料1：リサイクル燃料備蓄センター原子力事業者防災業務計画の修正内容の概要について

(リサイクル燃料貯蔵株式会社)